



## 接岨地区に新しい名所が誕生！

その名も「<sup>やっばしこみち</sup>八橋小道ラブ ロマンズ ロード」

接岨地区に8つの吊橋が架かった遊歩道「<sup>やっばしこみち</sup>八橋小道ラブ・ロマンス・ロード」が完成し、3月29日に完成記念イベントが開催されました。

午後から行われた開通ウォーキングには、町内外から85人の参加者が集い、1周約2kmの遊歩道を約1時間かけて歩き、遊歩道の完成を喜ぶと同時に、春の「接岨峡」を満喫しました。

八橋小道ラブ・ロマンス・ロードは「若宮神社（男の神）」と「こだま石神社（女の神）」との間に吊橋が8つあり、コースを歩くことにより両方の神社を参拝することができます。緑の山々と森林、接岨湖の湖面の美しさを楽しむことができます。8つの橋のうち、階段式の吊橋「宮沢橋（みやんざわばし）」



は水平距離が62メートルで、群馬県みどり市の「けさかけ橋」の51メートルを抜き、日本一の階段式吊橋（吊床板階段橋）となりました。

（写真の橋が宮沢橋です）  
湖面をわたる風を受けながら心地良いウォーキング

## 満開のしだれ桜の下で「第16回徳山の桜まつり」



大勢の来場者が満開の桜を楽しみました

3月29日から4月13日まで、桜の見ごろに合わせて開催された徳山地区の桜まつり。4月上旬、川根高校と町営サッカーグラウンドの間にある桜の並木道には、しだれ桜がピンク色の花を咲かせ、また桃沢脇ではソメイヨシノも満開を迎えました。

4月6日の日曜日には、商工会徳山支部が主催する各種催しが行われ、町内外から訪れた多くの来場者でにぎわいを見せました。

川根高校郷土芸能部による赤石太鼓の迫力ある演奏や、青木美智子さん（徳山）が主宰する健康表現体操の実演、カラオケ大会やハーモニカの演奏などが行われ、桜まつりに花を添えました。

当日は天候も良く、町内外から訪れた来場者たちは、満開を迎えた桜の花を愛でながら、暖かな日差しの下で車座になって花見に興じたり、ゆっくり歩きながら桜の花を堪能しました。

## 新入学おめでとう 登下校は気をつけて

4月5日、7日の両日、町内小学校において入学式が行われ、新入学児を対象として今年も交通安全絵読本の配布が行われました。

この活動は、新入学児童に、交通安全をわかりやすく関心をもってもらうことを目的としており、川根本町と交通安全協会川根本町分会が毎年行っています。

絵読本と交通・防犯グッズの詰め合わせを手渡すとともに、町内駐在所の警察官と記念撮影も併せて行いました。

桜満開の中、やや緊張した面持ちで登校してきた新入生も、思いがけないグッズのプレゼントと警察官との記念撮影で、すっかりリラックスして入学式に望む様子でした。



新入学児たちは興味深げに受け取っていました 中川根南部小

土木一式・解体工事・植栽工事

ISO9001 認証取得



# 株式会社梶山組

KAJIYAMA

代表取締役：梶山 博 住所：川根本町元藤川373-3 電話：0547-57-2525 FAX：0547-57-2167



## 地球時代のヒントを探る「農村未来塾」地名で開催

社団法人国際農林業協働協会と川根本町が共催

3月7日から9日にかけて、地名地区で「地球時代のヒント・農村未来塾」が行われ、全国から大学生や大学院生など20人が参加しました。このワークショップは、昔ながらの伝統的な集落に注目し、自然環境や命の営み、暮らしと文化をテーマとして地域の実情を学びます。そして、これから国際協力を考えていく中で、世界全体の共通の課題や、集落が持つ役割を地元の方々と一緒に考え、提案していくことを目的としています。

今回のワークショップでは、地名地区を対象として、地元の方のご協力のもとで実施されました。

7日、到着した参加者一行は、ワークショップの拠点となる地名集会所に入りました。開会式で杉山町長は「3日間、川根本町の暮らしを見て感じていただきたい。集落は疲弊しています。皆さんの意見が集落が変わるきっかけになれば嬉しい。我々も一緒に考えていくことが大事だと思っている」とあいさつしました。

参加者は、茶・水田・経済活動・伝統文化のテーマ別に4つの研究グループに分かれ、集落内を歩く実地調査や地名の方々との交流をしながら研究を進めました。

最終日のグループ別発表では、伝統文化を研究したグループが、地名地区の1年間の行事と参加人数など



実際に地名の地区内を歩きながら調査は進められました

を調べ、「地名地区には世代を超えたつながりがある」と発表しました。

また、経済活動のグループからは「地名地区の資源は『人』。との報告があり、ホームステイを受け入れる体制づくりの提案がありました。

地名地区の皆さんからは「自分たちの地区について、町外の若者の話を聞く機会などなかったの、良い刺激になった」、「地元の人が気づかないことを教えてもらい、得るものがあつた」などの声が聞かれ、収穫多きワークショップは幕を閉じました。

## 「デジタルなまず」が職場の安全を守ります！



避難誘導係の指示でキビキビと避難 中川根工場

昨年10月にスタートした「緊急地震速報」。地震の初期微動などを感知し、強い揺れが始まる数秒から数十秒前にテレビ・ラジオなどにより事前に周知する仕組みです。そして、この速報を24時間リアルタイムで受信し、いざ地震発生というときに迅速な避難を可能にする装置が「デジタルなまず」という受信装置で、これを導入し職場の安全を確保しようという事業所が増え始めています。

町内では初めてケーブルテクニカ株式会社で導入され、4月9日、中川根工場導入後初の避難訓練が行われました。

午前7時55分、一斉放送を合図に開始された訓練には175人の従業員が参加し、各部署において避難誘導係の指示で整列し、正面玄関前に速やかに避難しました。

山田工場長は「今回、受信装置導入後の初の訓練ということで戸惑う部分もあったかと思うが、実際の地震では事前に準備しておくわけにはいかない。身の安全確保を第一に考えて迅速な行動を心がけてほしい」と訓辞を述べました。

同工場では、この受信装置の導入により従業員の安全が確保され、また工場内の被害も最小限に食い止められます。また、火災発生など周辺に与えるリスクも回避できるなど様々な効果が期待されています。

### 土木一式工事・生コンクリート製造販売

Co.、As殻受入れ（有料）、中間処理 再生クラッシュラン販売

ISO9001 認証取得

## 株式会社 柳澤組

本社：川根本町東藤川722-2  
生コン工場：川根本町千頭606

電話：0547-59-2052  
電話：0547-59-3220